

## 目次

巻頭言	1
本間 研一	
「時間治療の最前線」	
1. ワークショップ「時間治療の最前線」 オーバービュー	2
藤村 昭夫	
2. 時間診断に基づく時間治療	7
久保 豊	
3. 血管内皮末梢時計からみた心臓病の治療戦略	11
前村浩二、武田憲彦、森田啓行、今井靖、永井良三	
4. 時間薬理学に基づく時間治療 - vitamin D 製剤を例として -	16
鶴岡 秀一	
5. 生体リズムと投薬タイミングに実証される時間治療の展望	20
大戸 茂弘	
6. ゲノム創薬と時間治療	28
赤羽 浩一	
生物時計説はいかにして生まれたか…エルヴィン・ビュニング (1906-1990) の物語	
1. 日周リズムの内律性と遺伝性	34
田澤 仁	
海外レポート	
カリフォルニア大学・バークレー校 Prof. Irving Zucker 研究室	43
高須 奈々	
第2回チェコ国際昆虫学セミナー 光周性と周期性に参加して	47
富岡 憲治	
第9回日本時間生物学会・名古屋の報告	50
太田 龍朗	
第9回日本時間生物学会シンポジウム I	
「分子時計の解明とその展開 ~分子から個体レベルまで」 印象記	51
広田 毅	
第9回日本時間生物学会シンポジウム II	
「遺伝子発現と治療薬からみた体内時計研究」 印象記	53
吉信 ゆう子	
第10回 日本時間生物学会学術大会	56
第1回時間生物学世界大会	56
「日本時間生物学会 会誌 Vol.8 NO.2 2002」のお詫びと訂正	58
日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ	59
会誌名称に関するアンケート結果について	62
事務局からのお知らせ	63
賛助会員リスト	68
執筆者のプロフィール	69
執筆要領	71

目次

巻頭言 一名誉会員に推薦されて	1
川崎 晃一	
生物時計説はいかにして生まれたか…エルヴィン・ビュニング(1906-1990)の物語	
II. 生物時計概念の誕生	3
田澤 仁	
第10回日本時間生物学会大会、第1回時間生物学世界大会始末記	16
本間 研一	
第一回時間生物学世界大会印象記	18
田ヶ谷 浩邦	
第一回時間生物学世界大会に出席して	21
西ノ首 いつみ	
第1回日本時間生物学会学術奨励賞選考結果	23
事務局報告	24
執筆者のプロフィール	27
第1回時間生物学世界大会抄録集	29
執筆要領	227

目次

巻頭言 本間 慶蔵教授及び Juergen Aschoff 教授の思い出 登倉 尋實	1
第1回学術奨励賞受賞者論文	
シアノバクテリアの時計研究の舞台裏 岩崎 秀雄	3
視交叉上核ニューロンにおけるサーカディアン細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度リズムの発見：その時間生物学におけるインパクト 池田 真行	12
総説	
生体時計を基盤とする循環動態調節機構の解明 江本憲昭、野中英美、横山光宏	23
インターバルタイマータンパク質TIME、ねじまきPIN付き 甲斐英則、谷 直紀、磯部 稔	28
鳥類の時計遺伝子と光周性 安尾しのぶ、渡邊美和、海老原史樹文、吉村 崇	35
海外レポート	
アメリカでのポストドク生活—テネシー州ナッシュビルより 太田 英伸	41
第2回 Molecular Clock 東京 2004 に参加して 渡辺 剛史	45
日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ	47
11回大会のおしらせ	48
事務局報告	49
執筆者のプロフィール	53
賛助会員リスト	55
執筆要領	56

10巻2号 (2004)

目次

巻頭言 現代社会と時間生物学	i
大川 匡子	
総説	
ヒトの時間認知 ～概日ペースメーカーとインターバルタイマー～	1
栗山 健一	
シアノバクテリア概日時計タンパク質 KaiA, KaiB, KaiCの解析	7
北山 陽子	
事務局報告	14
次期理事候補選挙結果	16
賛助会員リスト	17
執筆者のプロフィール	18
日本時間生物学会 会員名簿 2004年9月	19
第11回 日本時間生物学会・滋賀 抄録集	49

## 11 卷 1 号 (Vol. 11 No.1 2005)

### 巻頭言

日本時間生物学会理事長就任挨拶

本間研一 . . . . . 1

### 第 2 回学術奨励賞受賞者論文

脊椎動物の光周性の分子機構の解明にむけて

吉村 崇 . . . . . 3

### 総説

ハイブリッド関数ペトリネットによる哺乳類の時計遺伝子機構のモデル化とシミュレーション

藤井 靖、松野 浩嗣、宮野 悟、井上 慎一 . . . . . 8

魚類における月齢同調性産卵と月を利用した時刻あわせ

竹村明洋 . . . . . 17

夢見体験と REM、NREM 睡眠、概日変動

鈴木博之 . . . . . 23

### 海外レポート

フランス国立科学研究センターIGBMC

土居 雅夫 . . . . . 30

植物の概日リズムと光周性花成研究の現状：2つの国際会議の企画

溝口 剛 . . . . . 33

### 追悼文

Eberhard Gwinner(1938-2004)を偲んで

海老原史樹文 . . . . . 37

日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ . . . . . 38

12 回学術大会のお知らせ . . . . . 39

事務局報告 . . . . . 40

執筆者プロフィール . . . . . 46

時間生物学会会則 . . . . . 48

賛助会員リスト . . . . . 51

執筆要領 . . . . . 52

編集後記 . . . . . 53

11 卷 2 号 (Vol. 11 No.2 2005)

巻頭言

時間生物学の未来

石田真理雄 . . . . . 1

総説

心拍変動長周期ゆらぎの機序

青柳直子、山本義春 . . . . . 2

ハプロタイプ解析を用いた高精度 QTL(Quantitative Trait Loci)マッピング

下村和宏 . . . . . 9

概年リズムの位相反応曲線

西村知良、宮崎洋介、沼田英治 . . . . . 16

学術集会報告

ゴードン会議(2005年)に参加して

工藤 崇 . . . . . 25

国際ワークショップ『概日リズムの遺伝子タンパク質ダイナミクス』参加記

松本 顕 . . . . . 27

X.Congress of EPBRS 印象記

小島大輔 . . . . . 30

事務局報告 . . . . . 33

賛助会員リスト . . . . . 35

執筆者プロフィール . . . . . 36

第 12 回日本時間生物学会・つくば 抄録集 . . . . . 39

## 12 卷 1 号 (Vol. 12 No.1 2006)

### 巻頭言

体内時計と体内恒常性 永井 克

也 1

### 第3回学術奨励賞受賞者論文

細胞間同調 - 時間生物学を臨床医学へ応用するための1つのキー・ワード-

太田 英伸 3

Blood pressure soars on Mondays. 心血管疾患の新しいリスクとしての“Monday surge”

村上 省吾 10

### 総説

ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構 桑 和彦 14

脂肪組織における時計遺伝子の機能とその疾病への関与 榛葉 繁紀 20

ACE 阻害薬の時間治療 藤村 昭

夫 25

### 第12回大会関連記事

第12回日本時間生物学会を終えて 石田 直

理雄 30

第12回日本時間生物学会印象記 滋賀 向

子 31

第12回日本時間生物学会ワークショップ1「時計分子機構」印象記 梅田 奈苗 32

ワークショップ2「生活習慣病と生体時計」を終えて 勢井 宏

義 33

第12回日本時間生物学会ワークショップ3「投薬時刻と時計」参加記 安藤 仁 34

第12回日本時間生物学会ワークショップ4「睡眠リズムと発達」総括 海老澤 尚 36

第12回日本時間生物学会シンポジウムA「体内時計のモデル生物」印象記

原田 哲

夫 38

### 学術集会報告

“Neurobiology of Drosophila” 参加記 吉井 大志 40

日本動物学会第76回大会シンポジウム～概日時計の振動機構と機能分化～に参加して

伊藤 千

紘 42

大阪大学蛋白質研究所セミナー「体内時計と体内恒常性維持機構」に参加して

池田 真

行 44

第1回 Aschoff-Honma 記念シンポジウムに参加して

山崎 昌

子 46

第4回日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ 49

第13回学術大会のお知らせ 50

第14回学術大会のお知らせ 51

事務局報告 52

執筆者プロフィール 57

時間生物学会会則 59

賛助会員リスト 62

執筆要領 63

編集後記



## 12 卷 2 号 (Vol. 12 No.2 2006)

### 巻頭言

時間生物学の飛翔にむけて

深田 吉

孝・・1

### 総説

フィールド医学とクロノミクス

大塚 邦

明・・2

時間生物学の診断、治療、予防への応用

大川 匡子・・9

新規不眠症治療薬 Ramelteon の薬効薬理

宮本 政臣・・17

### 学術報告

時間医学講座(寄附講座)紹介

本間 さと・・27

Helfrich-Förster 研究室滞在記

吉井 大

志・・29

第40回光学五学会関西支部連合講演会のお知らせ・・・・・32

事務局報告・・・・・34

執筆者プロフィール・・・・・37

第13回日本時間生物学会学術大会 抄録集・・・・・39

編集後記

## 13 卷 1 号 (Vol. 13 No.1 2007)

巻頭言	本間 研一	1	
第 4 回学術奨励賞受賞者論文			
哺乳類概日時計振動体—細胞株を用いた動作原理の追求—	八木田 和弘	2	
総説			
抗癌薬の時間治療	大戸 茂弘	6	
キイロショウジョウバエ概日時計の温度サイクル同調機構	吉井大志・富岡憲治	13	
分節振動体がノイズの影響を緩和する機構	石松 愛・武田 洋幸・堀川 一樹	20	
寿命という時間	高木 由臣	27	
技術ノート			
概日リズム研究におけるルシフェラーゼとその応用	中島 芳浩・野口 貴子・池田 正明・近江谷 克裕	37	
第 13 回大会関連記事			
第 13 回 日本時間生物学会学術大会と第 22 回国際生物学賞記念シンポジウムを終えて	深田 吉孝・広田 毅	48	
第 13 回日本時間生物学会学術大会と第 22 回国際生物学賞記念シンポジウムの合同大会参加記	浜坂 康貴	50	
シンポジウム S1 フィールド医学と時間医学	大塚 邦明	54	
シンポジウム S2 「精神疾患とリズム」総括	海老澤 尚	54	
ワークショップ W2 「分子時計研究の最前線」総括記事	広田 毅	56	
ワークショップ W3 「メタボリックシンドロームとリズム」総括	前村 浩二	57	
第 5 回日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ			60
第 14 回学術大会のお知らせ			61

第2回国際時間生物学会	・ ・ ・ ・ ・	本間研一	・ ・ 62
事務局報告	・ ・ ・ ・ ・		63
執筆者プロフィール	・ ・ ・ ・ ・		68
時間生物学会会則	・ ・ ・ ・ ・		71
賛助会員リスト	・ ・ ・ ・ ・		74
執筆要領	・ ・ ・ ・ ・		75
編集後記			

## 13 卷 2 号 (Vol. 13 No.2 2007)

巻頭言 睡眠と生物時計の理解に向けて . . . . . 高橋 敏治 . . . 1

### 総説

私が名付けた遺伝子 *Bmal1*: 発表 10 年を振り返って . . . . . 池田 正明 . . . 2

血液凝固線溶系の日内変動と血栓症 . . . . . 大藏 直樹 . . . 8

メラトニンの新しい機能: 骨形成・骨代謝の制御 . . . . . 服部 敦彦 . . . 16

### 学術集会報告

第 2 回 ICACC 報告記 . . . . . 大森 正規 . . . 25

事務局報告 . . . . . 29

執筆者プロフィール . . . . . 30

賛助会員リスト . . . . . 33

会員名簿 . . . . . 34

編集後記 . . . . . 35

## 14 卷 1 号 (Vol. 14 No.1 2008)

巻頭言	本間 研一	1
第 5 回学術奨励賞受賞者論文		
体内時計のシンギュラリティ現象の解明	上田 泰己	2
核内受容体を介した脂質代謝から体内時計へのフィードバック制御	大石 勝隆	9
光とヒトのメラトニン抑制	樋口 重和	13
総説		
概日リズムの光同調に関わる光受容タンパク質メラノプシン	寺北 明久	21
シアノバクテリアの概日時計再構成系とその反応機構	寺内 一姫	29
幼児・児童・生徒・学生の生活リズムと睡眠習慣—24 時間型社会 関連因子を含む生活環境因子に注目して—	原田 哲夫	36
2nd WCC および第 14 回学術大会関連記事		
第 2 回時間生物学世界大会 (2 <sup>nd</sup> World Congress of Chronobiology) の報告 .....	大塚 邦明	44
第 14 回日本時間生物学会学術大会・日本睡眠学会第 32 回定期学術集会 合同大会を終えて	高橋 敏治	47
第二回 WCC 参加感想	小山 時隆	48
WCC 参加記	中尾 暢宏	50
第 6 回日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ		52
第 15 回学術大会のお知らせ		53
事務局報告		54
執筆者プロフィール		59
時間生物学会会則		61
賛助会員リスト		64
執筆要領		65
編集後記		

## 14巻2号 (2008)

### 目 次

#### 巻頭言

心の科学としての時間生物学 .....	安倍 博 .....	1
---------------------	------------	---

#### 総説

鳥類の光周性の機能ゲノミクス .....	小野ひろ子・中尾 暢宏・吉村 崇 .....	2
----------------------	------------------------	---

ヒトの睡眠・生物時計機能の加齢変化 .....	肥田 昌子・三島 和夫 .....	9
-------------------------	-------------------	---

シアノバクテリア概日リズムの分子機構の解明へ向けた数理的アプローチ .....	今村(滝川)寿子・望月 敦史 .....	18
--	----------------------	----

#### 海外だより

ドイツ・フランクフルトの研究生活記 .....	安尾しのぶ .....	24
-------------------------	-------------	----

#### コラム

日時計はいかに季節時計を動かすか 体内時計の不思議 .....	石田直理雄 .....	27
---------------------------------	-------------	----

事務局報告 .....		29
-------------	--	----

執筆者のプロフィール .....		31
------------------	--	----

賛助会員リスト .....		33
---------------	--	----

第15回日本時間生物学会学術大会 抄録集 .....		35
----------------------------	--	----